

令和元年度事業報告

はじめに

社会福祉法人の使命、存在意義、公共性・公益性など、社会福祉法人のあり方そのものが問われた社会福祉法人制度改革も本格施行後3年を経過し、各法人の制度改革による取組の成果も併せて問われるとともに、「地域共生社会」の実現に向けた議論が進められ、生活困窮者自立支援法が見直されるなど、社会福祉法人を取り巻く状況は変化を続けています。

きぼうの家におきましては、こうした求めに応じられるよう、次の基本方針に従い、利用者・保護者の皆さんの意向を踏まえながら、安全・安心で来てよかったと思っていただける施設運営に取り組んでまいりました。

1. 基本方針

- (1) 利用者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行います。
- (2) 福祉サービスの提供は、利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーの侵害や虐待につながる暴力行為は厳禁する立場に立っています。当福祉会においても虐待防止対応規程に基づき利用者の人権を守り、健全な支援を行います。
- (3) 地域や保護者会との連携を図り、市町村や他の福祉施設及び医療機関等との連携に努めます。
- (4) 福祉サービスの提供に関して利用者等から苦情があった場合は、本会の苦情処理委員会設置要綱の規定に基づき、迅速に解決を図るよう努めます。
- (5) 地域とのつながりを大切にしながら犯罪による被害を抑え、利用者や職員の安全・安心の確保に向けて取り組んでまいります。

2. 制度改革等に対する取組み

- (1) 経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、障害福祉サービス等情報の公表等に的確に対応し、より適正な事業運営に努めてきました。
- (2) 社会福祉法人の責務として位置付けられた地域における公益的な取組について、ふくおかライフレスキュー事業（ライフレスキュー小郡地区連絡会）に参加し、会議・研修会への参加及びサポーター研修の受講など、地域社会における社会福祉法人の存在意義を高めてきました。
- (3) 社会福祉充実計画に基づくグループホーム設置について、他法人の調査、グループホーム完成見学会の参加などを行うとともに、既存家屋の改修費用調査（平成30年度）を踏まえ、具体的検討を行いました。
- (4) 社会福祉法人及び障害者福祉等に関する制度・法令等の動向に注視し、迅速な情報収集・情報提供に努めてきました。

3. 利用者への援助

(1) 個別支援計画に基づく福祉サービスの提供

ア 利用者の心身の状況や本人・家族等と面談を行い、個別支援計画を作成し、これに基づき適切なサービスを提供してきました。

イ 個別支援計画は、施設職員全体で意思統一を図り、本人及び保護者の同意を得てサービスの充実を図ってきました。

ウ 支援計画に基づき提供したサービスについて、一定の経過後点検・評価を行い、利用者のニーズや心身の状況及び意向の変化に応じて、再検討する等支援計画の充実を図ってきました。

(2) 具体的な支援の方向

就労継続支援B型事業として、受託事業及び施設外就労を「就労や生産活動の機会を提供する雇用に向けた訓練」と位置づけ、利用者の特性や本人の希望を勘案して実施するとともに、工賃の向上を図ってきました。

また、社会生活を営む上で必要な生活能力の向上を目的として、買物等の訓練及び宿泊体験等を実施しました。

(3) 健康管理

ア 日常的に利用者の健康状態に留意するとともに、毎月初めに体重や血圧測定を行い、急激な体重変化の有無を確認します。また年1回集団検診を実施し、健康状態の把握に努めました。

イ 精神疾患又は発作等を有する利用者については、利用者・保護者の同意を得て、主治医との連絡を密にし、その指示のもとに生活指導や服薬等の指導を行いました。

ウ 自然に親しむ野外活動、地域に奉仕するボランティア活動、利用者・職員が一体となり施設内環境整備にも取り組みました。

エ 令和元年12月において、利用者のインフルエンザの罹患者が増える中、職員にも広がり、2日間の休園を余儀なくされました。

新型コロナウイルスにつきましては、マスクの着用、手洗いの徹底、消毒の実施など、その予防対策を実施しました。

(4) 給食

ア 利用者の嗜好及び身体的条件等を把握し、栄養のバランスを考えて作成した献立表を毎月事前に配布し、利用者・保護者が毎日の給食の内容を理解できるよう努め、バラエティーに富んだ給食を実施しました。

イ 毎日の給食の中で、好ましい食生活の習慣やマナーの習得を支援しました。

4. 職員会議及び研修

利用者支援の課題を協議するとともに施設運営の効果を高めるため、次の会議及び研修を実施しました。

(1) 施設職員全体の意思統一を図るための職員会議（毎日）

(2) 利用者に関する問題・課題についての意思疎通と共通認識を持った対応を行うための「指導員会議」

(3) 栄養士と調理員の給食会議

(4) 虐待の防止に関する研修

(5) 年間研修計画に基づき、各種研修会、研究会、講習会等に積極的に参加し、職員の専門的技術的知識の習得並びに資質の向上を図りました。

5. 年間行事計画

施設の行事として、利用者のニーズに合った行事を取り入れ、利用者の多くが参加できる行事等を行ってきました。

- 4月 利用者・保護者・役員・職員懇親会
 - 5月 観劇会
 - 6月 野球観戦 誕生会 宿泊体験
 - 7月 買物訓練
 - 8月 カラオケ交流会
 - 9月 集団検診 火災避難訓練 誕生会
 - 10月 バスハイク
【ふれあいオリンピック】 【あすてらすフェスタ】
 - 11月 買物訓練 交通安全教室
 - 12月 餅つき大会 クリスマス会 誕生会
 - 1月 初詣
 - 2月 ボウリング大会
 - 3月 火災避難訓練 誕生会
- 【 】は外部団体主催行事への参加